

土谷 岳史 准教授

【つちや たけし】

早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程単位取得退学。2009年4月より経済学部講師。専門はEU(欧州連合)の政治。趣味は音楽鑑賞(激しい音楽が好き)やサッカー批評を読むこと。



- 政治学
- 政治制度論
- 国際関係論
- ヨーロッパ政治論
- 学問研究入門

研究テーマ

私はEUを事例に、ネイション-ステートとは異なる秩序について考えています。ネイション-ステートとは何でしょうか。日本には古来から続く日本人=ネイションがあり、その日本人が作ってきた日本という国=ステートもまた連綿と続いていると考えられています。実際には近代的なステートが作られたのは17世紀ごろですし、ネイションは19世紀以降、一般化していったものです。ですが、現在も日本人かどうかが一番の問題になるように、「我々」と「彼ら」を分ける基準はこのネイション-ステートの神話なのです。この問題は何でしょうか。日本にも外国人がたくさんいます。日本民族以外の日本人もたくさんいます。このような状況下で、同質的な人々を前提として秩序を考えていくことは非現実的ですし、望ましくもありません。様々に異なる人々がどのように生きていけるのか、これは現代社会の大きな課題です。EUはヨーロッパの27の国が作っている超国家的な秩序です。私はこのEUを研究することで、日本も含めた現代社会のよりよい秩序のヒントを得ることができるのではないかと考えています。現在は、EUの移民政策を中心に、人がどのようなカテゴリーに振り分けられ、包摂と排除が行われるのかを研究しています。

担当科目

政治学：近代的な政治体制の確立と、自由と平等について考えていきます。
国際関係論：戦争を軸にネイション-ステートの誕生から現代の国際関係まで検討していきます。

政治制度論：日本の戦後政治を振り返り、現代日本の政治を考えていきます。
ヨーロッパ政治論：デモクラシーを中心に、望ましい秩序について研究していきます。

学問研究入門：テキストの読み方、研究の仕方などを学んでいきます。

ゼミの内容

政治学・国際関係論のゼミです。ゼミ生の興味関心は多様なので、学問的立場や問題意識の異なる著作を複数輪読していきます。基本的な読解力や議論の仕方はもちろんですが、これにより物事の見方を学んでほしいと考えています。3年の後期からは各自の卒論へ向けて研究報告をしてもらい、議論の中で論文を仕上げしていきます。

ゼミ生のひとこと



2年前にできたゼミです。他のゼミのように毎年やっている決まったことはありません。歴史あるゼミはもう楽しみが用意されているんでしょうね。土谷先生はあらゆる状況にも柔軟でしょう。あなたが好きに特徴づければいい。何年経っても同じような形にならないゼミ。同じだったら僕らも先生も飽きちゃうでしょ。

土谷ゼミ1期生

EUを参考に、国民国家とは別の仕方